

# 日韓における 「復興知」の共有

ーセウォル号惨事からの地域復興の取り組みー

日時：2022年2月18日(金) 14:00～16:30

開催方法：オンラインによるハイブリット方式

(日本) 場所：関西学院大学災害復興制度研究所会議室

(韓国) 場所：希望ブリッジ全国災害救護協会 希望ブリッジホール

関西学院大学災害復興制度研究所では、2016年1月から、「東アジアの新たな協働を考える」をテーマにした国際シンポジウムを開催してきました。第7回目となる今回は、セウォル号惨事以後、被害者や遺族の心の支援、被害者や遺族の多くが暮らす安山市の地域復興などの取り組みを実践している韓国の研究者を交えて、日韓の復興知の共有を試みます。

■開催挨拶 金 静姫 (希望ブリッジ全国災害救護協会事務総長)  
山 泰幸 (関西学院大学災害復興制度研究所副所長)  
朴 來群 (416財団常任理事)

■来賓挨拶 梁 起豪 (駐神戸大韓民国総領事)  
浜本 宏 (兵庫県日韓親善協会理事、元衆議院議員)

■司会 羅 貞一 (希望ブリッジ全国災害救護協会災害安全研究所副所長)

■発表 (14:20～15:20)

「セウォル号惨事以後、被害者たちの努力と地域社会の回復努力」

金 玟煥 (ハンシン大学校平和教養大学教授)

「災害を眺める共同体の視線—大邱地下鉄火災とセウォル号惨事が与える意味」

柳 靜 (西京大學校人性教養大學教授)

「災害復興研究と日韓協力—東日本大震災、セウォル号惨事からコロナ禍まで」

山 泰幸 (関西学院大学災害復興制度研究所副所長)

■総合討論 (15:20～16:20)

金 玟煥 (ハンシン大学校平和教養大学教授)

柳 靜 (西京大學校人性教養大學教授)

山 泰幸 (関西学院大学災害復興制度研究所副所長)

岡田 憲夫 (関西学院大学災害復興制度研究所顧問)

齊藤 容子 (関西学院大学災害復興制度研究所主任研究員)

金 恩智 (マウムトダク精神健康医学科医院院長)

李 洪起 (TVプロデューサー、映画監督)

羅 貞一 (希望ブリッジ全国災害救護協会災害安全研究所副所長)

■閉会 (16:30)